

# 排泄ケアの改善

～夜間のオムツ交換の削減を目指して～

恵寿総合病院グループ 鶴友苑 みなみで えみこ 南出 恵美子

## 【施設紹介】

当施設は石川県能登半島に位置し、平成16年10月に1市3町が合併した人口65,000人の七尾市にある。平成5年4月に恵寿総合病院グループの一つである、田鶴浜診療所に併設された入所50床、通所10名の介護老人保健施設である。安心、親切、丁寧をモットーに、利用者様一人一人の笑顔を大切にお世話させて頂いている。

## 【テーマ選定理由】

当苑では以前から夜中のオムツ交換時、利用者様から「寒い」「何じゃい、うるさい」などの訴えが多く、職員からも「安眠妨害ではないか」「いや、夜中でも変えてあげたほうがすっきりする」などの意見があり、賛否両論であった。また、年々、利用者様の重度化、オムツ使用者の増加に伴い介護負担が増した事や、オムツ代が施設負担となっていることなどから、今回このテーマに取り組む事とした。

## 【活動計画】

⇨ 予定      ⇨ 実施

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
活動計画	テーマ選定	⇨							
	現状把握		⇨						
	要因解析			⇨					
	対策の立案・実施				⇨				
	効果の確認						⇨		
	歯止め 今後の課題								⇨

## 【現状把握】

利用者様：夜中のオムツ交換時「寒い」「うるさい、こんな時間に」など不満の声が多く聞かれていた。

職員：21時・2時・5時の計3回のオムツ交換があり介護負担が大きい

2階（夜勤者1名：オムツ交換者17名・延べ交換回数51回・延べ時間3時間超）

3階（夜勤者1名：オムツ交換者21名・延べ交換回数63回・延べ時間3時間超）

オムツコスト：H16年1～3月の月別平均使用金額234,838円・一人当たりの月別使用金額5,389円

サークル チーム名		若葉サークル		(平成5年 10月結成)	
リーダー氏名 (職種)	大橋 ゆかり (看護師)	所属 部門	看護 介護 医療技術 事務 その他 (社会福祉士)	月あたり会合回数	2回
リーダー経験年数	15年5ヶ月			平均会合時間	1時間
メンバーの数	計 8名	活動 内容	賞 能率 CS モラール 1ス 安全	平均会合出席率	75%
	うち男 1名 うち女 7名			テーマ歴 (このテーマで)	11件目

【目標設定】

- ① 利用者様の夜間安眠
- ② 職員の介護負担の軽減

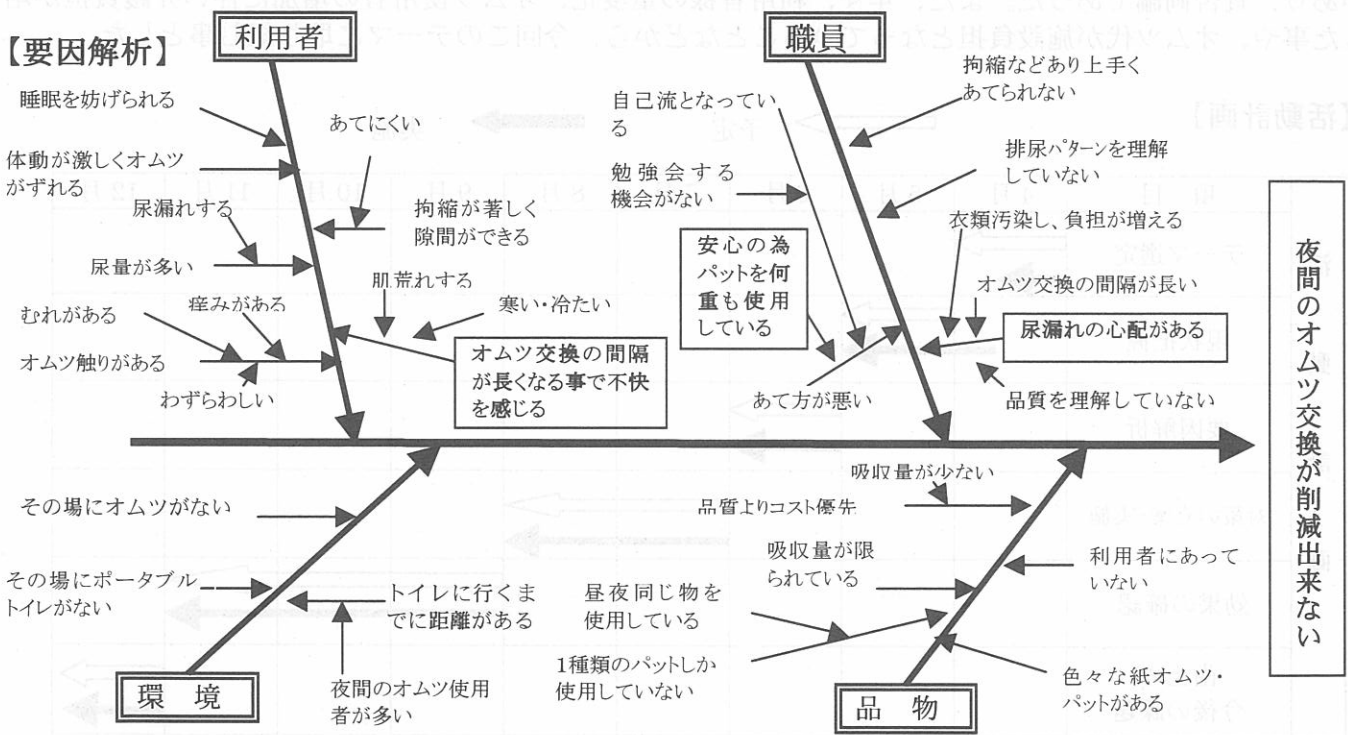
夜間のオムツ交換削減

	交換	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1	2	3	4	5	6
現交換	5																								
目交換	4																								

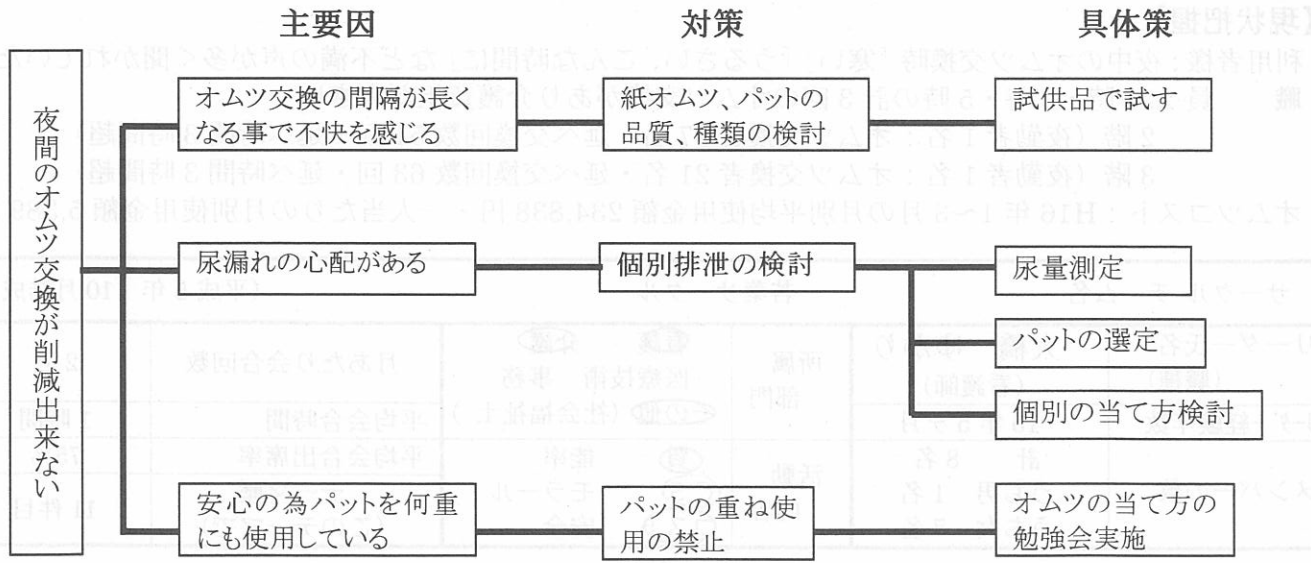
- ③ コストの削減

一人当たりの月別使用金額 5,200 円台

【要因解析】



【対策の立案と実施】



①オムツ交換の間隔が長くなる事で不快を感じる

➡ パット・紙オムツの種類・品質の検討



(品質検討風景)

②尿漏れの心配がある

➡ 尿量に合わせたパットの選定  
個別の当て方の検討



(尿量測定風景)

月日	時間	06:00		10:30	
4/19	汚染状況				
	尿量	30g	350g	g	120g
	外漏れ	(あり)	なし	あり	(なし)
	備考	紙オムツまで漏れあり			

(オムツ汚染状況調査表)

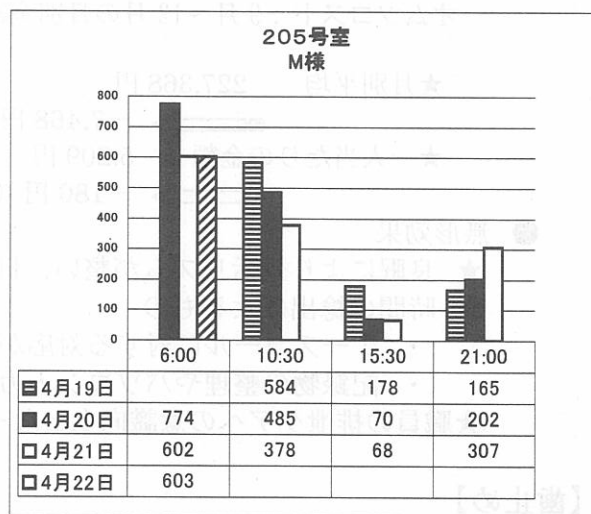
【事例1】 83歳、男性  
昼夜紙オムツ使用  
日中は時間毎にトイレ誘導

【問題点】

- ・6時の尿量が多い為21時はパワーガードを使用した  
が漏れた。
- ・やせて隙間がしやすい

【対策】

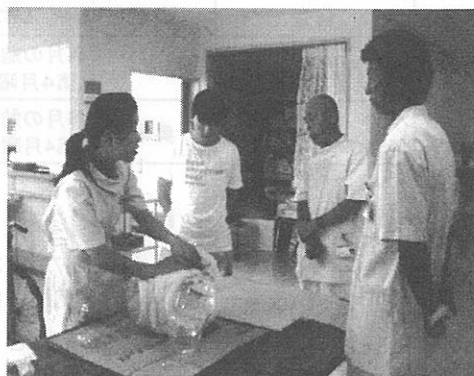
- ・検討したパットを使用し、2時のオムツ交換時に  
心肌パット使用
- ・ずれや隙間のないように当てる



③パットの重ね使用の禁止

➡ オムツの当て方の勉強会実施

(勉強会風景)



## (月別取り組み状況)

4月	2階8名に対し心臓パットモニター開始
5月	
6月	2階利用者様に心臓パット採用
7月	3階7名に心臓パット・紙オムツのモニター開始
8月	全利用者に紙オムツ・心臓パットを採用
9月	リハビリパンツスーパーからレギュラーに変更 (スーパーとレギュラーでは1枚20円～30円の違い)
10月	簡単装着パットのモニター開始
11月	簡単装着パットの採用

### 【効果の確認】

#### ●有形効果①

夜中のオムツ交換削減にて、寝ている利用者様を起こすことが無くなった。また、今までオムツ交換により覚醒し、不穏となる方がいたが、朝まで眠る事ができ、同室者の安眠にもつながった。

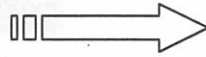
#### ●有形効果②

尿量に合わせたパットの選択、個別の当て方を検討した事で夜中2時の交換を削減出来た。

夜勤帯のオムツ交換延べ回数

2階：51回 ⇒ 34回

3階：63回 ⇒ 42回



交換回数が約3分の1に削減され  
約1時間の時間を捻出する事が出来た

#### ●有形効果③

オムツコスト：9月～12月の月別金額

★月別平均 227,368円

⇒ -7,468円 (紙オムツMで換算すると81枚分の削減)

★一人当たりの金額 5,209円

⇒ -180円 (男女兼用パット6.6枚分の削減)

**全目標達成!**

#### ●無形効果

★ 良眠により生活リズムが整い、日中の活動に参加出来るようになった。

★ 時間の捻出によるもの

・ ナースコールに対する対応が迅速かつ優しく出来るようになった。

・ 記録物の整理やパソコン入力の時間がとれるようになった。

★ 職員の排泄ケアへの意識向上となった。

### 【歯止め】

何を	誰が	いつ	どこで	どうする
尿漏れの多い人を	リーダー	毎月の勉強会 (第4月曜)	会議室で	ピックアップし、翌日より3日間尿量測定し、パットの選定、当て方を検討する
パット、紙オムツの無駄がないよう	奥本	毎月の勉強会 (第4月曜)	会議室で	先月の使用金額を提示し、スタッフ全員にコスト意識を高める

### 【反省及び今後の取り組み】

排泄ケアの改善は手間隙がかかり、スタッフにも負担がかかる為、なかなか着手出来なかったが、今回、苑の事業方針として取り組めたことが良かった。

今後は日中のトイレ誘導が必要な方に対し、失禁する前にトイレ誘導出来る様に取り組むを行うなど、個別ケアやユニットケアの充実に向け、更に頑張っていきたい。